

**新春市民交歓会を開催**  
「がんばろう」三唱で1年の飛躍を誓う

1月4日、鹿島ガーデンヴィラ（北中川原）で「新春市民交歓会」が開催され、約450人が参加しました。鈴木市長、和知商工会議所会頭、緑川表郷工会会長のあいさつに続き、来賓祝辞、叙勲等受章者の紹介、白河謡曲会桜謡会の祝謡、鏡開きを行った後、高橋市議会議長の発声で乾杯し、新年を祝いました。祝宴では、白河民舞愛好会が祝いの舞を披露し、会場を盛り上げました。結びに、ダルライザーとダイスが参加し、「がんばろう」を三唱、1年の飛躍を誓いました。



▲「がんばろう」を三唱する参加者

**ダルライザー反射ステッカーが完成**  
児童の交通事故防止に一役

1月17日、市交通安全母の会連絡協議会の徳田芳江会長と亀森文子副会長、ダルライザーの3人が市役所を訪れ、「ダルライザー反射ステッカー」の完成を鈴木市長に報告しました。同協議会が子どもたちの交通事故防止に役立てようと作製し、ダルライザーがデザインを考案。8日に鹿嶋神社で行われた交通安全祈願祭でおはらいを受けました。ステッカーは、市内小学校の全児童に配布されます。



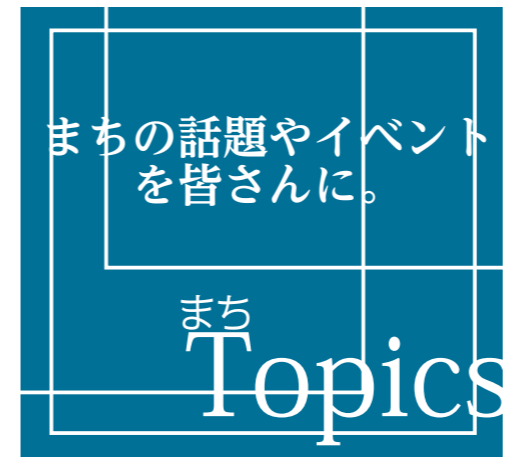
▲左から、亀森副会長、鈴木市長、ダルライザー、徳田会長

**県農業経営者海外派遣研修事業**  
アメリカの大規模農業を学ぶ

1月9日、県の農業経営者海外派遣研修事業に参加する戸倉宏一さん（大信中新城）に、市から激励金が交付されました。この研修は、先進国の農業経営を学び、国際的な感覚を身に付け、その成果を地域農業に生かすことを目的に毎年行われています。今年度は県内の生産者14人が参加。1月20日から30日までの日程でアメリカを訪れ、大型野菜栽培農家や農産物市場などを視察するほか、農業経営者との情報交換等を行います。



▲鈴木市長と握手を交わす戸倉さん



▲パレードの様子

**平成25年白河市消防団出初式**  
防火・防災の決意を新たに

1月6日、市民会館（手代町）で消防団出初式が行われ、約800人の消防団員が参加しました。式では、統監である鈴木市長の訓示に続き、邊見友雄消防団長からあいさつがあり、団員は新年を迎え、防火・防災の決意を新たにしていました。また、式に先立ち、火災予防の啓発を兼ね、本町から市民会館までの約1kmの道のりを消防団員がパレードし、頼もしい姿を披露しました。昨年、市内で発生した火災の件数は27件（建物15件、車両2件、その他10件）でした。一人ひとりが火の取り扱いに十分注意し、火災のない1年を目指しましょう。



▲出初式の様子

**(株)齋藤商店が新白河ビジネスパークに進出決定**  
精米工場を建設、白河の米を全国に届ける

1月17日、ホテルサンルート白河（新白河駅前）で、(株)齋藤商店（齋藤孝弘代表取締役）との土地売買契約締結式が行われました。同社は、これまで米の卸販売を主に事業を展開してきましたが、新たに精米工場を建設するため、新白河ビジネスパークへの進出を決定しました。齋藤社長は「白河管内のおいしい米を全国に届けたい」と話していました。新白河ビジネスパークへの進出企業は、これで10社目となりました。



▲左から、森谷県企業局長、齋藤社長、大須賀市産業部長